

映画で学ぶ 環境問題



ウォーターワールド
(Water World)

公開：1995 年
配給：ユニバーサル映画
出演：ケビン・コスナー
デニス・ホッパー
上映時間：136 分
ロケ地：ハワイ州のハワイ島やカリフォルニア州
サンタカタリナ島など。

正統派のエコ・ムービーが続いた連載「映画で学ぶ環境問題」5 回目の今回は少し古い作品ですがケビン・コスナー主演でヒットした「ウォーターワールド」を取り上げてみたいと思います。1995 年公開のこの作品は近未来 S F という手法のアクション映画です。ご覧になったことが無い方でも大阪にあるユニバーサル・スタジオ・ジャパン (USJ) でアトラクションにもなっているため、多少の内容はご存じかと思いますが、この映画は、地球温暖化が進み

北極・南極の氷が溶けて海面が上昇して海だけが広がる、まさに水の惑星「ウォーターワールド」となった近未来の地球での物語。一人孤独に自作のトライマレン (三胴船) を操って旅をするマリナー (ケヴィン・コスナー) は、ある日、岩礁の街に寄港します。ほんの少し立ち寄るだけのはずが、マリナー自身が「海中でも呼吸のできるエラを持つミュータント」であることを見破られ、住民に捕らえられてしまいます。長老から死刑を言い渡され、処刑寸前に海賊集団スモーカーが環礁

の街を襲ったことから、その騒動の中で間一髪逃げ出しますが、「ドライフンド」への地図を入れ墨された少女や、彼女を守るヘレンという女性を助けて一緒に旅を続けていく内に、少女を追ってきた海賊集団スモーカーと再び戦闘になります。この映画では、海水の上で暮らす人々にとって「真水」と「土」は何よりも大切な生命の源。特に土が「陸地」として残っているであろう「ドライランド」は、ウォーターワールドの人々にとって見たことがない「幻のふるさと」であるため、そのドライランドへの地図をめぐる戦いが起きる、というものです。

本作品は、ケビン・コスナー演じるヒーローがけだるい放浪者といった感じのためか、それとも荒廃した近未来でのアクションシックスのためか、しばしば「海のマッドマックス」と呼ばれるようで、残念ながら「子ども達に見せたい環境映画」とはいえません。ストーリー自体も目新しいものではなく、よくある西部劇的なパターンといってしまうまでも作品でもあります。そのうえ「温暖化が進んだからといって地球の土地すべてが水没するわけではない」というのが常識となった今では、やや B 級評価に陥りそうな作品です。ただ、そんな本作でも特筆したいのが、1995 年という製作時期です。約 1

0 年前といえは、京都議定書が世界中の話題をさらった COP3 (地球温暖化防止京都会議) の 2 年前。COP3 は 1997 年、つまり地球温暖化に対する意識が、まだかなり低いタイミングにも関わらず巨額を投じて本作品が企画・製作されたのです。内容の良し悪しや正確性はともかくとして、その先見性な視点はさすが映画の都ハリウッドならではと感心せざるをえません。たとえば作品中に出てくる「尿を真水に作り替える小さな装置」は、10 年後の今でも莫大なコストと設備がないと海水や汚水を淡水化できず、未だに魔法の装置です。地球全土が水没することはありえないにしても、ツバイなど島国は確実に国土が狭くなっていますし、大陸では砂漠化が進んでいます。水と栄養豊富な土が貴重品になりつつあるのは間違いないと思います。そうやって考えてみると、USJ のアトラクションや海のアクションといった娯楽部分にばかり注目せず、この映画が訴えかける土と緑と水のありがたさ」を、もう一度想いながら鑑賞していた

ユニーク 街で見つけたエコグッズのご紹介

「みつろうクレヨン」
街で見つけたエコグッズ
今回は「みつろうクレヨン」をご紹介します。
「みつろうクレヨン」とは、その名の通りミツバチが巣作りのために花の蜜を食べて分泌する 100% 天然のロウ (ワックス) を原料にしたクレヨンです。みつろうは食べても安心な上に保湿・柔軟・殺菌作用があるため、最近では化粧品を始めとした様々な商品に応用されています。

クレヨンは主に幼少児や年少の学童が使うので、従来使われてきた一般的なクレヨンでも決して有毒ではないのですが、特に小さな子どもが噛んだり口に入れても安心というところから最近では特に「みつろうクレヨン」の人気の高まっています。数年前までは輸入品しかなく高価な「みつろうクレヨン」でしたが、今では 100%みつろうのできたクレヨンでも 3000 円程度で入手可能です。(500%なら 1000 円前後です。)



今回この記事を書くにあたり、そもそも「エコ」とは何だろう?と初心に戻って考えてみたのですが、環境問題で主に言われる「ecology」とは、近年、環境破壊や公害問題が表面化するにつれて、それを解決する学問分野であるとして生態学が注目をあびた結果、ひいては「生物にも環境にいい」という意味に使われているようです。そういつた意味あいから考えても「みつろうクレヨン」は、自然界で生息するミツバチの分泌物を応用した立派なエコ商品。子どもが口に入れても安心ですし、ゴミとして捨てられたとしても自然環境に悪影響を与えないため、実に素朴なエコグッズと言えるでしょう。

大日新聞では情報として市販のエコグッズをご紹介しますが、推奨品としてお薦めする製品ではありません。

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

スタッフ紹介

日頃は営業活動やお電話で対応させていただいておりますスタッフの日常をお伝えいたします。

「ものはい様」とはよく言ったもので、学生の時は意識の隅にさえありませんでした。社会人になってこの諺の持つ 3 年位で思い意識するようになり、急に身近な話題になりました。例えばお客様に「特価依頼書」の返信をいただく時、お互い忙しいので、なかなか返信してこないお客様がいます。返信がないと、売上をあげられない、仕方がスミーズに行かない・・・イライラ・・・そこで「返信がないと特価致しかねます」と言ってしまう。波々ながらこちらの要求には応じてくれるものの、微妙な空気・・・確かに特価にできないし、返信しない方が悪い。特価しているのだからこちらの主張は当然ではないか。それは事実です。



東京営業所 品川大介

では、なぜ「波々」なのか。考えると、特価依頼書 (当社書式) の返信をもらってから売り上げるのは当社内のルールであって、お客様にとっては外国の法律みたいなものなのです。そんな状況でこちらのルールを一方的に押し付けてしまったら・・・答えは自明です。さて、ここで発想を転換。

こちらのルールでお客様の時間をいただいている。お客様が大日の為に時間を使ってくれていると思えば自然に「お忙しいところお手数ですが・・・」という言葉がお客様に承諾いただいた時には「ありがたうございます」という言葉が出てくるではありませんか。

そうするとお客様も「こんでもありません。了解しました」と反応する。これは、私たちがお客様から要求された時も同じです。結果、普段電話越しだけで面識のない方でも会話のキャッチボールが成立してしまふのです。

ほんの些細なことでもこれだけの効用があるとは・・・「ものはい様」は、言い古された諺の持つパワーを意識せざるを得ません。

「ものはい様ハワー」で楽しく、気分良く仕事をしませんか?

DAINICHI CHEMICAL CO., LTD.

● 本社
〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13
TEL : 06-6909-6755 (代) / FAX : 06-6909-6702
● 東京営業所
〒105-0013 東京都港区浜松町 1-2-11
TEL : 03-3436-3801 (代) / FAX : 03-3436-3803



次号も
お楽しみに

URL : <http://www.dainichikasei.co.jp>